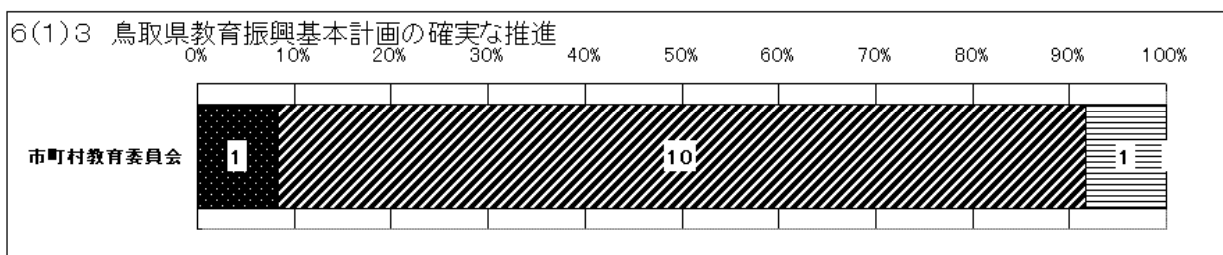
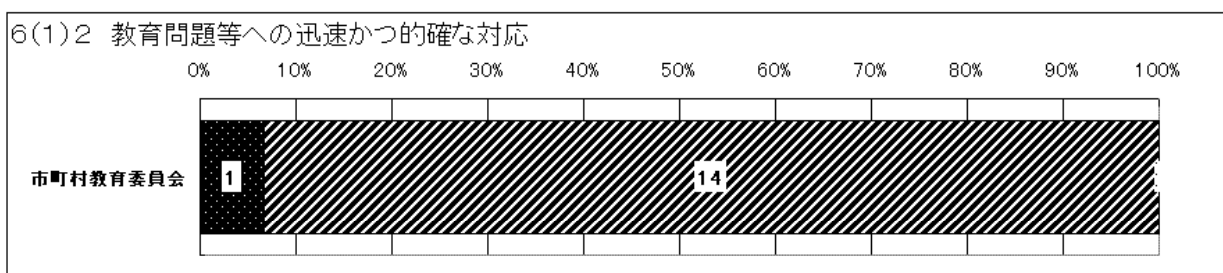
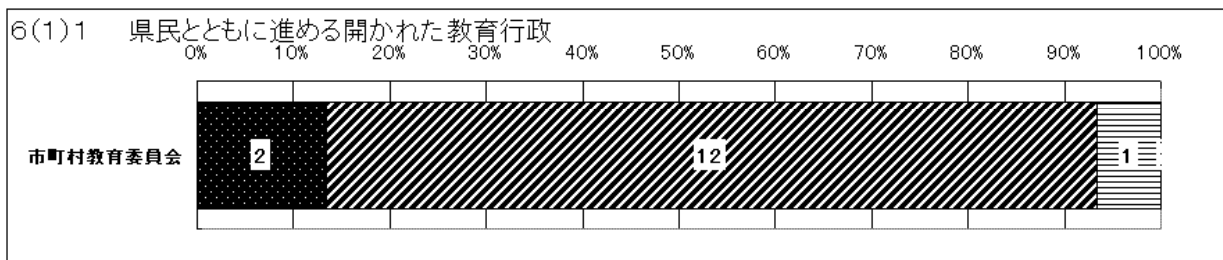


【教育関係者アンケート結果】

- ア 大変効果があった
- ウ どちらともいえない
- オ 全く効果がなかった
- ▨ イ ある程度効果があった
- ▨ エ あまり効果がなかった



【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
▽鳥取県教育振興基本計画の数値目標の達成率	— %	26.7%	29.9%	→		100%

6 鳥取県教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり

(2) 市町村、国、高等教育機関など関係機関との連携・協力の推進

【 目指すところ 】	H22実績			H21実績		
	自己評価	関係者評価	数値目標	自己評価	関係者評価	数値目標
①市町村との連携・協力体制の充実	B	a	概ね順調	B	b	概ね順調
各地区毎に指導主事等連絡協議会等を開催し、情報の共有や指導力の向上を図った。また、市町教育委員会訪問により、学校への指導・支援について共通理解を図っている。						
②高等教育機関との連携・協力の一層の推進	B	b		B	c	

H22 成果と課題

①市町村との連携・協力体制の充実

- 定期的な連絡協議会の開催や、全国都道府県教育委員会連合会や文部科学省等から入手した各種教育行政情報を積極的に提供するなど、情報共有に努めるとともに、新任委員研修や全体研修会を実施し市町村教育委員の資質向上を図った。
- 地域主権のあり方について市町村教育長と意見交換を行ってきたが、今後も引き続き方向性を探っていく必要がある。
- 町村が指導主事（地域教育担当）を配置する場合の人件費の一部を助成することによって、町村における指導主事配置を促進した結果、新たに2町村で配置され、全市町村での指導主事配置が達成された。

②高等教育機関との連携・協力の一層の推進

- 県内3大学（鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学）と鳥根大学教育学部による「学校支援窓口一覧」をホームページに掲載するとともに、県内学校に情報提供しその活用を促している。
- 学生教育ボランティアについては、鳥取大学近郊の学校を中心に継続的な活動が活発に行われている状況がある一方で、活動を希望しながら実際の活動が行われていないという状況があり、新たに募集情報をメールで提供するなど、学生の確保に努めたが、実績としてはあまりあがらなかった。
- 鳥取環境大学の改革案について、評価・検討委員会を設置し検討を行った結果、環境学部環境学科・経営学部経営学科の2学部2学科体制と公立大学法人化の方向性が示された。
- 本年度「中部ものづくり道場」が設置され、東・中・西部の3か所の拠点の設置が完了した。今後も関係機関と連携した道場の円滑な運営に協力していく。

H23 対応方針

①市町村との連携・協力体制の充実

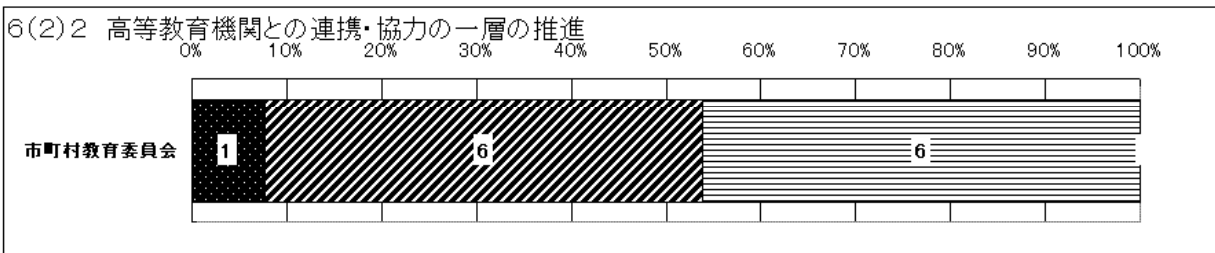
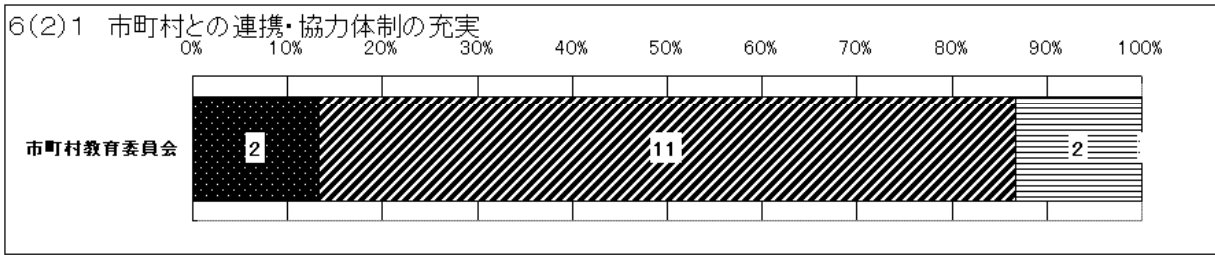
- 引き続き、市町村教育委員会と連絡協議会や情報提供などにより意思疎通を密にするとともに、教育委員の研修会開催などにより市町村教育委員の研修支援を行う。

②高等教育機関との連携・協力の一層の推進

- 様々な教育課題等について、高等教育機関と情報を共有し、必要に応じてワーキンググループを開催するなど、連携を一層促進する。
- 少子化が進む中で、県内の各高等教育機関は安定的に学生を確保する必要があるため、各大学等の魅力づくりの取り組みに対して協力していく。
- 県内東部、中部、西部に設置された「ものづくり道場」が有効に機能するよう、鳥取大学等関係機関と連携して道場の運営を支援する。

【教育関係者アンケート結果】

- ア 大変効果があった
- イ ある程度効果があった
- ウ どちらともいえない
- エ あまり効果がなかった
- オ 全く効果がなかった



【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)		23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
▽市町村教育委員会の「指導主事」配置率	17市町村	17市町村	19市町村	↑	19市町村	19市町村	全市町村 (19市町村)

【参考：数値目標一覧】

1 生涯にわたって自ら学び、社会全体で子どもたちを育む体制づくり

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)		23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
▽心とからだいきいきキャンペーンの保護者認知(実施)率【再掲1-(2)】	41.3% (小中高特)	71.2% (幼保のみ)	68.6% (幼保のみ)	↘	就学前・小学校を重点実施		100%
▽自治会単位の「人権学習会(小地域懇談会)」実施市町村	18市町村	19市町村	19市町村	↑			全市町村 (19市町村)
▽「鳥取県家庭教育推進協力企業」認定企業数【再掲1-(2)】	184社 36.8%	253社 50.6%	416社 83.2%	↗	450社 90.0%		500社
▽学校支援地域本部設置数	2箇所	5箇所	7箇所	↗	9箇所		10箇所
▽放課後子ども教室設置市町村数	9市町村	10市町村	11市町村	↗	12市町村		14市町村
・〔東部地区〕学社連携の取組を行う公民館数	2館	4館	6館	↗			10館
・〔中部地区〕学社連携推進モデル地域の指定	—%	3市町 60%	3市町 60%	→	5市町 100%		各市町5地域
・〔西部地区〕学校・家庭・地域が連携した取組を実施している市町村実施率	—%	5市町村 56%	9市町村 100%	↑	9市町村 100%		100%
・〔西部地区〕子どもを中心とした地域の教育力の向上に向けた具体的取組を実施している市町村実施率	—%	5市町村 56%	9市町村 100%	↑	9市町村 100%		100%
▽とっとりマスター認定者数	1人	4人	6人	↗	8人		10人
▽県立博物館の入館者数(6.1月:H19)	8.3万人	6.7万人	9.2万人	↗	6.6万人	6.7万人	6.8万人
▽公立図書館の個人貸出冊数(人口一人当たり)(4.65冊:H19)	4.8冊 (28位)	5.0冊 (28位)	5.1冊	↗	5.2冊	5.2冊	5.2冊 (全国15位以内)
・船上山少年自然の家利用者数 ・船上山少年自然の家利用団体数 ・船上山少年自然の家目標十分達成率	27,628人 321団体 65%	27,154人 339団体 65%	27,674人 323団体 58%	↗ ↘ ↘	27,000人 300団体 60%	27,000人 300団体 61%	27,000人 300団体 62%
・大山青年の家利用者数(幼児)	1,537人	2,052人	2,192人	↗	2,000人	2,000人	2,000人

2 「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育の推進

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
▽大学・短大等進学率(43.9%:H19年)	43.6%	43.6%	45.0%	↗	→	50.0%(H30)
▽学校以外で平日60分以上学習(宿題や予習復習)している児童生徒の割合【再掲1-(2)】						
小学6年	52.6%	56.3%	57.5%	↗	→	60%
中学3年	64.0%	61.8%	65.6%	↗	→	70%
▽学力の二極化の傾向の解消(全国学力・学習状況調査及び高校入試結果で評価)	二極化傾向有り	二極化傾向有り	二極化傾向有り	→	→	二極化解消
▽(小中)将来の夢や目標を持っている児童生徒の増加(全国学力・学習状況調査)	小学6年 81.2% 中学3年 69.5%	84.7% 69.1%	85.9% 68.9%	↗ ↘	→ →	対前年増 対前年増
(誠)進路実現のため目標に向かって努力している生徒の増加(高校生アンケート)	高校2年 45.2%	※ -	47.3%	↗	→	対前年増
▽(小中)国語、算数(数学)の勉強は好きだという項目の肯定的な回答の平均値の増加(全国学力・学習状況調査で評価)	小学6年 59.8% 中学3年 51.5%	62.0% 53.2%	61.6% 53.4%	↘ ↗	→ →	対前年増 対前年増
(誠)学ぶ意欲・態度に関する項目の肯定的な回答の増加(高校生アンケート)	高校2年 38.4%	※ -	38.2%	↘	→	対前年増
・[東部地区]「学ぶ意欲の向上」の取組推進学校数	6校	11校	16校	↗	20校	20校
・[東部地区]総合的な学習の時間のカリキュラムの作成率	小40% 中30%	小80% 中60%	小100% 中70%	↑ ↗	中学校 100%	100%
・[東部地区]外国語活動のカリキュラムの作成率	20%	80%	100%	↑	→	100%
▽小中学校で「道徳の時間の授業公開」(全て又は一部 小学校:99.3%(H19)の学級で実施) 中学校:100%(H19)	100%	99.3%	95.7%	↘	→	100%に近づく 継続
▽朝の一斉読書(朝読)の実施率	小学校: 94.6%	97.0%	97.0%	→	→	100%
中学校: 95.0%	94.0%	95.0%	↗	→	100%	
*高校は一斉読書の実施率	高校: 45.8%	55.0%	87.5%	↗	→	60%
▽1日に全く読書をしない児童生徒	小学6年: 16.7%	15.8%	15.5%	↘	→	限りなく0に 近づく
中学3年: 30.8%	31.3%	29.3%	↘	→	→	
▽児童生徒が文化芸術に触れる機会を持つように努める⇒2年に1回以上【再掲4-(1)】(現状71.8%(H18及び19に文化芸術に触れた学校の割合))	-%	小88% 中82%	-%	-	→	100% ※学校における鑑賞教室等に関する実態調査(H19)
▽小・中学校とも不登校の出現率の減 H19 不登校出現率 小学校0.43% 中学校2.53% 高校1.52%	小0.40% 中2.46% 高1.44%	小0.36% 中2.83% 高1.55%	小0.33% 中3.14% 高1.61%	↘ ↗ ↗	→ → →	全国平均を下 回るとともに、 限りなく0に 近づく
・[東部地区]不登校児童生徒への組織的対応が十分できた学校の割合	60%	80%	85%	↗	100%	100%(自己評価)

※高校生アンケートは2年に1回実施のため、実績は隔年調査。

※学校における鑑賞教室等に関する実態調査は5年に1回の調査のため、H21実績からの「学校教育成果と課題」で実態を把握した。H22は未調査。

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)		23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
▽体力調査結果を親世代(S53～57)の平均値に近づける							
<50m走> 親世代S53～S57(平均)				秒 %			
小5男 9.05秒(100%)	9.28秒	9.36秒	9.36(97)	→			9.23秒(98%)
小5女 9.26秒(100%)	9.59秒	9.54秒	9.57(97)	↘			9.45秒(98%)
中2男 7.86秒(100%)	8.01秒	7.92秒	7.93(99)	↘			7.86秒(100%)
中2女 8.65秒(100%)	8.80秒	8.70秒	8.83(98)	↘			8.65秒(100%)
<ボール投げ>親世代S53～S57(平均)				m %			
小5男 31.0m(100%)	27.4m	25.7m	26.0(84)	↗			27.9m(90%)
小5女 17.6m(100%)	15.3m	14.9m	15.4(88)	↗			15.8m(90%)
中2男 22.3m(100%)	21.7m	20.9m	20.9(94)	→			22.3m(100%)
中2女 14.5m(100%)	13.4m	13.8m	13.4(92)	↘			14.5m(100%)
▽校内性教育推進委員会設置率	小学校 中学校 高校 特別支援学校	43% 75% 100% 100%	46% 80% 100% 100%	51% 73% 96% 100%	↗ ↘ ↘ ↑		100% 100% 100% 継続
▽中学、高校における薬物乱用防止教室の開催率	中学校 高校	76.7% 83.3%	70% 85%	82% 79%	↗ ↘		100% 100%
▽食に関する指導年間計画の作成率	小学校 中学校 特別支援学校	68% 48% 33%	64% 37% 29%	73% 44% 44%	↗ ↗ ↗		100% 100% 100%
▽朝食喫食率【再掲1-(2)】	小学5年 中学2年 高校2年	90.3% 89.6% 79.8%	91.2% 89.5% 84.6%	90.7% 86.7% 81.2%	↘ ↘ ↘		100% 100% 100%
▽学校給食用食材の県内産使用率		54%	57%	62%	↗	60%	60%
▽栄養教諭の市町村への配置		3町	9市町	11市町	↗	16市町	
▽情報モラル教育の実施	小学校：61.5%(H19) 中学校：80.0%(H19) 高校：100%(H19)	※- % ※- % 100 %	87.1% 95.0% 100%	90.6% 96.7% 100%	↗ ↗ ↑		100% 100% 継続
▽環境教育全体計画の作成及び改善	小学校：48.6%(H19) 中学校：35.0%(H19)	54.6% 38.3%	58.3% 31.7%	60.4% 40.0%	↗ ↗	80% 75%	90% 90% 100% 100%
▽学校のTEASⅡ ・Ⅲ種(鳥 取県版環境 管理システム) 取得の促進	小学校：12.2%(H19) 中学校：15.0%(H19) 高校：41.7%(H19) 特別支援学校：28.6%(H19)	11.4 % 13.3 % 54.2 % 57.1 %	13.7% 15% 62.5% 100%	15.1% 18.3% 70.8% 100%	↗ ↗ ↗ ↑	19% 24% 91.6%	22% 27% 100% 100%

【 数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)		23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
全国学力学習状況調査質問紙調査より							
▽「新聞やテレビのニュースなどに興味を持つ児童生徒の増加」 小学6年：61.0% 中学3年：63.1%	61.0%	65.1%	64.0%	↘			肯定的な回答率の増加
▽「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある児童生徒の増加」 小学6年：43.4% 中学3年：20.6%	43.4%	43.4%	— %	—			肯定的な回答率の増加 (H22調査なし)
▽「人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の増加」 小学6年：93.0% 中学3年：90.5%	93.0%	93.3%	95.3%	↗			肯定的な回答率の増加
▽「人が困っているとき、進んで助ける児童生徒の増加」 小学6年：77.5% 中学3年：71.7%	77.5%	81.3%	82.4%	↗			肯定的な回答率の増加
▽「今住んでいる地域の行事に参加する児童生徒の増加」 小学6年：74.8% 中学3年：43.5%	74.8%	76.1%	76.1%	→			肯定的な回答率の増加
▽小学校教員による保育所・幼稚園での保育体験研修の実施	3市町村	6市町村	8市町村	↗	11市町村		全市町村 (19市町村)
▽幼稚園、保育所、小学校の連絡協議会の設置や、教職員の交流の機会の設定	※ —	※ —	※ —	—	100%		全ての小学校区
▽「子どもの育ちを支えるための資料（保育所児童保育要録）」の作成と小学校への送付 (平成22年度以降に就学する児童から対象)	—	100%	100%	↑	100%	100%	100%
▽認定こども園の設置	0施設	0施設	0施設	→			9施設(H26)
▽個別の教育支援計画の作成 (H20公立幼・小・中・高)	27.3%	58.6%	75.2%	↗			80%
▽個別の指導計画の作成 (H20公立幼・小・中・高)	84.9%	89.4%	90.2%	↗			100%
▽特別支援学校高等部（専攻科含む）卒業生の就職希望者の就職率の向上 (H19:50%)	71.4%	73.9%	82.9%	↗			75%以上
(特別支援学校高等部（専攻科含む）卒業生の就職率の向上(H19:17.5%))	28.0%	30.1%	28.3%	↘			30%以上
▽特別支援学校教職員の該当障がい種に関する特別支援学校免許状保有率の向上	79%	78%	74.3%	↘			90%以上
▽特別支援学級教員の該当障がい種に関する特別支援学校免許状保有率の向上	38%	39.5%	41.2%	↗			40%以上

※「幼稚園、保育所、小学校の連絡協議会の設置や、教職員の交流の機会の設定」のH20, 21, 22実績については、未調査であり、H23実績からは「学校教育実施状況調査」で実態を把握する予定。

3 学校教育を支える教育環境の充実

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)	
▽学校評議員制度(類似制度を含む)の設置率 <H19末>幼稚園 : 44.4% 小学校 : 95.3% 中学校 : 93.3% 高校 : 100% 特別支援学校 : 100%	6園 66.7% 141校	7園 77.8% 136校	7園 ※87.5% 138校	↗		100%	
	95.3% 58校	※97.8% 58校	99.3% 59校	↗		100%	
	96.7%	96.7%	98.3%	↗		100%	
	100%	100%	100%	↑		継続	
	100%	100%	100%	↑		継続	
学校評価制度							
▽実施率 <H18末>幼稚園 : 75% 小学校 : 100% 中学校 : 100% 県立学校 : 100%	100%	100%	87.5%	↘		100%	
自己評価 公表率 <H18末>幼稚園 : 33.3% 小学校 : 33.8% 中学校 : 14.8% 県立学校 : 100%	100%	100%	100%	↑		継続	
	100%	100%	100%	↑		継続	
	100%	100%	87.5%	↘		100%	
	100%	100%	100%	↑		100%	
	100%	100%	100%	↑		100%	
	100%	100%	100%	↑		継続	
▽実施率 <H18末>幼稚園 : 0% 小学校 : 50.9% 中学校 : 42.6% 県立学校 : 100%	33%	67%	87.5%	↗	100%	100%	
関係者評価 公表率 <H18末>幼稚園 : 0% 小学校 : 36.3% 中学校 : 23.1% 県立学校 : 100%	33%	56%	75.0%	↗	100%	100%	
	57%	57%	60.7%	↗		100%	
	50%	55%	63.3%	↗		100%	
	100%	100%	100%	↑		継続	
・精神性疾患による休職者数の出現率は全国平均を下回るとともに休職者数は19年度の50%減とする(H19:37人)	100% 37人	—% 39人	84% 31人	↘	70% 26人	60% 22人	50%減 19人減
[西部地区] ・セミナーごとの学校参加率 ・研修内容を学校経営や校内研究等で活用している研修成果率(セミナー後の追跡調査及び学校訪問等での聴き取りを実施)	20% 50%	20% 50%	19% 32% ※参加人数は増加	↘ ↘	事業実施のため数値目標削除		60% 80%
▽公立学校の耐震化率の向上 高校 : 47.0%(H20.4) 特別支援学校 : 82.6%(H20.4) 小中学校 : 58.7%(H20.4) 幼稚園 : 55.6%(H20.4)	50.6% 84.8% 62.9% 55.6%	53.6% 97.8% 65.7% 66.7%	68.8% 100% 72.6% 50.0%	↗ ↑ ↗ ↘		90% 100% 80% 100%	
▽小学校での学校地域安全マップ作成率	82%	76%	81%	↗		90%	
・学校安全に関するマニュアルの作成率 小学校 : 中学校 : 高校 : 特別支援学校 :	92.7% 80.3% 95.8% 100%	85.0% 80.0% 80.8% 100%	100% 95% 100% 100%	↑ ↗ ↑ ↑		継続 100% 継続 継続	
・修学資金の支援(奨学資金の貸与財源の一部となる返還未収金の徴収を強化し、収納額の向上を図る。奨学資金収納額4.9億円)	3.2億	3.7億	4.2億	↗	4.3億	4.5億	4.9億

※「学校評議員制度(類似制度を含む)の設置率」に係る小学校のH21実績については、分母となる学校が減ったことと新規に設置した学校が増えたこと等により、H20より設置率が増加している。
 また、幼稚園のH22実績についてはH21実績と同数であるが、分母となる学校が減ったことにより、H21より設置率が増加している。

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)		23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
・私立中・高等学校（7校）の学校関係者評価実施率	71.4%	85.7%	85.7%	→	100%	100%	100%
・私立幼稚園（28園）における学校関係者評価の実施率	0%	39.3%	35.7%	↘	50%	75.0%	100%

4 文化・芸術の振興と文化財の保存・活用

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)		23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
▽県指定文化財の新規指定件数	3件	4件	12件	↗	3件	3件	合計15件
・妻木晩田遺跡来場者数	人 31,895	人 26,211	人 38,198	↗	人 48,000	人 50,000	史跡等総合整備活用推進事業が終了するH24から年間5万人を目指す。
・青谷上寺地遺跡展示館来場者数	人 10,321	人 8,195	人 7,465	↘	人 17,000	人 18,000	

5 スポーツの振興

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)		23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
▽総合型地域スポーツクラブの設置	旧20市町村 52%	旧21市町村 54%	旧22市町村 57%	↗	旧28市町村 72%	旧30市町村 77%	旧39市町村 100% (H28)
▽県民(成人)の運動・スポーツ実施率 平成16年度実績(44.3%)	直近調査 はH16	51.7%	直近調査 はH21	→	→		60%以上
▽国民体育大会	46位	47位	46位	↗	→		40位台前半 (常時30位台)

6 鳥取県教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)		23 (目標)	24 (目標)	25 (最終目標)
▽鳥取県教育振興基本計画の数値目標の達成率	— %	26.7%	29.9%	↗	→		100%
▽市町村教育委員会の「指導主事」配置率	17市町村	17市町村	19市町村	↑	19市町村	19市町村	全市町村 (19市町村)